

## トマト養液栽培における排水量に基づく給液制御法及びシステムの開発

トマト養液栽培において排水量に依存する簡易な培養液制御法とそれを実践できるシステムを開発しました。この制御法では1日ごとに必要な給液量に応じて給液量を制御するので、タイマー給液量制御法と比べ、裂果や尻腐果を低減できます。

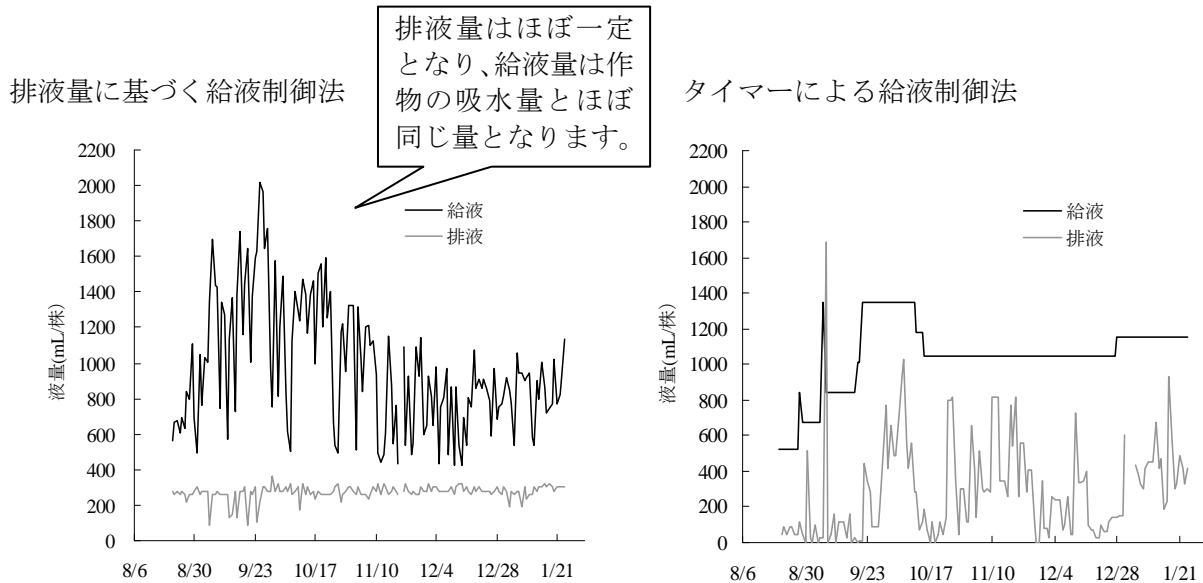


図1 給液量及び排水量の経日変化

8/6～8/20はいずれの試験区とも給液量は400mL/株/日で排水は欠測。

栽培容器：鉢用トレイ（縦450mm×横220mm×深150mm、2鉢連結トレイ）に防根透水シートを敷き、パーライトを2L/株充填したもの、播種：2009年7月19日、定植：同年8月6日、摘心：同年11月26日、栽培終了：2010年1月25日。栽植様式：株間21cm×畝間200cm、1条振り分け誘引

表1 収量及び障害果の発生割合

試験区	総収量 (kg/株)	可販収量 (kg/株)	裂果（可販） <sup>z</sup> (個数%)	裂果 <sup>y</sup> (個数%)	尻腐果 (個数%)
排水量に基づく給液制御法	5.37	5.02	4.6	0.5	1.6
タイマーによる給液制御法	4.56	4.15	7.1	4.3	2.2
	**	**	**	**	NS

<sup>z</sup>：B品、C品に分類される果実、<sup>y</sup>：D品に分類される果実、\*\* t-testにより危険率1%水準で有意差有り。収穫期間：2010年10月13日～2011年1月25日